

縄南中通信



平成29年 1月10日 発行

2016年度 第9号

「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」

東大阪市立縄手南中学校

校長 日比野功

縄手南(小中一貫)施設分離型義務教育学校(平成31年度開校予定)教育理念

「縄南道」による20才の成人式には

当たり前の行動を当たり前に行うことができる人の育成

全員一丸で「縄南道」のレベルを高める進化の2017年に！

新年あけましておめでとうございます。2017年がスタートしました。全員が心新たに決意を持って新しい年をスタートしましょう。平成31年より縄手南小中義務教育学校がスタートすることも念頭に置き、2017年の目標は「縄南道」のレベルを高めることです。「縄南道」のレベルを高めるとは、「縄南道」の基本である「当たり前」のレベルを高めることです。それには「勝因」である「一生懸命」「ていねい」「ひたむき」ということを全員が「意識して、やり抜いている。」と自信を持って言える行動をとり、それが習慣となって身につくことです。また、「敗因」である「いい加減」「適当」「だいたい」になってしまっていると感じた時には、自分自身と勝負し、この「敗因」が起こっている状態から抜け出すことです。それには常に「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」を意識して実行する必要があります。このレベルを全員で高めることが2017年の「縄南道」の目標ですが、もう少しつけ加えると、日頃の行動で「敗因」となっていることの1つに「言葉使い」があります。「言葉使い」が「ていねい」になり、日常の状態の「当たり前」のレベルが高まれば、その集団の持つ「空気」が変わります。そしてその集団の持つ「空気」が変われば間違いなく「結果」も変わります。体育館やグラウンドに感謝の気持ちを持って「一礼」をすることや、日常生活で「靴を揃える」といった昨年に意識しようとしたことも、この「言葉使い」のレベルを高めることによって「当たり前」として身につくことに繋がることなのでしょう。2017年の「縄南道」は、「言葉使い」を意識してこだわり、1つ2つと「当たり前」のレベルを高め、「身につく」ことを増やしていきましょう。これは「全員」がやらなければなりません。「全員」の「当たり前」のレベルを高めることによって「縄南道」の「空気」が高まりますので意識して実行して下さい。我々が目指すことは「日本一」です。

**オリンピック選手から学ぶ 「感謝の気持ちを大切に！ 返事！あいさつ！は当たり前」
～リオデジャネイロ五輪アーチェリー代表 古川高晴選手、川中香緒里選手より～**

年末12月にリオデジャネイロ五輪アーチェリー代表の古川高晴選手と川中香緒里選手をお招きし「縄南道講演」を行いました。古川高晴選手は2004年アテネ五輪から、北京、ロンドン、リオと4大会連続出場され、ロンドン五輪では男子個人銀メダル、2015年のコペンハーゲン世界選手権では個人銅メダルを獲得され、今回のリオでは5位という結果でした。川中香緒里選手は2012年ロンドン五輪で女子団体銅メダルを獲得され、2015年ワールドカップ上海大会では混合準優勝、コペンハーゲン世界選手権では団体4位、今回のリオでは8位という結果でした。お2人のオリンピック選手をお招きしいろいろなお話をお聞きすることができましたが、やはり自分だけの力だけ

でオリンピック出場ができた訳ではなく、いろいろな方々やその状況を創り上げてくださっていることへの「感謝の気持ち」をお話しされました。また、「縄南道」が実践する「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」は本当に人生にとって必要なことであり素晴らしいことであるとも伝えて下さりました。練習に練習を重ねて、地道に確実に多くのことを積み上げることの大切さも伝えていただきました。オリンピックという高いレベルで戦われるお二人のお話を聞くだけで終わらず、日頃の「縄南道」の実践として、一人ひとり全員が心に刻みこみ、身につけて欲しい内容でした。講演の最後には実際にアーチェリーの試技をしていただきましたが、あの時の「息を飲む」「静寂」「空気感」をぜひ忘れないようにして下さい。「世界のレベル」を感じることができた貴重な瞬間です。こうして二人のオリンピック選手お招きし、世界の「空気感」を味わえる瞬間を持てたのも、縄手南中学校を応援して下さい方のご尽力のおかげであることも忘れないでください。



古川選手と川中選手のアーチェリー実射

村上隆行監督（独立リーグ06BULLS）のブログから

縄手南中学校や東大阪中体連準硬式野球がお世話になっている独立リーグ（ベースボールファーストリーグ）06BULLSの村上隆行監督のブログに次のような事が書かれていました。村上監督はブルズの選手に日頃から「いつも見られているという意識を持つことで行動も変わるし責任感も持てる。」これは「気にしていればできること。」とありました。そのために具体的には「髭を剃る」「寝癖は直す」「練習以外で移動する場合は私服（ジャージはNG）」「報告・連絡・相談をしっかりとる」ということです。「意識ある行動」は「縄南道」に通じ、改めて身の引き締まる内容でした。

クラブ等の主な記録

パソコン部 ICTプロフィシエンシー検定試験(P検)合格

3級 角川瑠伊(3年)、4級 飯島百花(1年) 迫田萌依(1年) 山住佑斗(1年)

美術部 第6回大阪成蹊全国アート&デザインコンベンション

中学生の部 優秀学校賞

中学生の部 銅賞 横江芽依(3年)、入選 清水望愛(3年) 長谷桃佳(1年)

吹奏楽部 東大阪アンサンブルコンテスト

銀賞 クラリネット3重奏(ウェントス)

銀賞 管打8重奏(マイ・ホームタウン)

銀賞 金管8重奏(ボン・ボヤージュ!)

税についての作文 全国納税貯蓄組合連合会・国税庁主催

優秀賞 福島脩平(3年)

「社会を明るくする運動」作文コンテスト東大阪地区選考委員会・法務省主催

優秀 高宮万裕美(3年) 岡映美利(3年) 浦島明日美(3年) 今井晴香(3年)

松井里佳(2年) 荒谷百葉(1年) 北川晴大(1年)

第50回英語まつり参加

生駒仁美 小西真実 高石千晶 西岡歩美 福田博文 伊藤唯 花村雅公 岡昭士郎

奥野辰樹 香川仁志、川上京香 左貝海 田中風音 田中悠登 出口あおい 伊藤愛音

植田楓 内方温奈 田熊紫織、東條羽那 山根愛奈(全2年)

※縄南中通信第8号で参加生徒掲載に誤りがありましたので再掲させていただきました。